

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第2グループ(住吉・井田)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H27		H28		H27		H28		
	1 住吉こども文化センター ①年間延べ利用者数	27,199人	31,739人	②年間延べ利用団体数	188団体	195団体			
2 住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	242人	251人	②年間延べ利用者数	14,251人	15,124人				
3 東住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	224人	247人	②年間延べ利用者数	13,647人	16,080人				
4 今井小学校わくわくプラザ ①登録者数	406人	423人	②年間延べ利用者数	25,390人	29,626人				
1 井田こども文化センター ①年間延べ利用者数	43,047人	38,574人	②年間延べ利用団体数	161団体	155団体				
2 井田小学校わくわくプラザ ①登録者数	399人	400人	②年間延べ利用者数	23,152人	22,289人				
3 下小田中小学校わくわくプラザ ①登録者数	451人	459人	②年間延べ利用者数	20,225人	21,415人				
収支実績	単位:円								
1 収入									
指定管理料	111,643,127								
2 支出									
人件費	93,664,478								
管理費	7,934,567								
事務経費	5,498,558								
その他経費	7,689,773								
合計	114,787,376								
3 差引	-3,144,249								
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書及び事業計画書に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。</li> <li>住吉こども文化センターでは、地域のボランティアの協力を得た「卓球教室」や乳幼児向け行事の毎月実施などの取組を行った。</li> <li>井田こども文化センターでは、新たな事業として、地域に公立保育所や幼稚園が少ないという課題の把握に基づき、中原区役所と共催で保育相談広場「ミクロ」を実施したほか、児童と一緒に農作物を育てる「サニーガーデン」では、地域のボランティアと継続的に協力する関係を築き、堆肥作りから始まる年間を通じた活動により、単なる収穫体験にとどまらない活動の機会を児童に提供している。</li> <li>こうした取組を通じグループ全体では、利用者数や利用団体数は微増であるものの、事業の成果は着実に上がっている。</li> </ul>			

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用ニーズについては、利用者や保護者からのアンケート調査や、運営協議会、子ども運営会議、保護者懇談会を通じて意見を集約し、適切に対応できている。また、井田こども文化センターでは、ドッジボール大会など、人気行事と子ども運営会議の実施日を合わせることで、多くの子どもが出席するよう工夫したほか、「いだポスト」の積極的な活用を呼びかけ、映画会の上映作品など、行事の実施に意見を活かす取組を行った。</li> <li>・地域、学校及び行政機関との連携については、住吉こども文化センターにおいて、今井中学校の生徒が、「サロン・DE・ベイビー」の運営を保育士やボランティアと協力して行うとともに、「いのちの大切さ」をテーマに読み聞かせを行ったほか、下小田中小わくわくプラザでは、PTAボランティアが読み聞かせを行うなど、地域が繋がる状況が生まれている。</li> <li>・広報については、井田こども文化センターで、中高生だよりを年間3回発行したほか、住吉こども文化センターでは、保護者が持ち歩きやすくなるよう、乳幼児たよりを手のひらサイズに変更したに加え、かわさきFMのインタビューを受けて、館の行事をPRするなど、様々な媒体を用いた積極的な広報の工夫がなされている。</li> <li>・こども文化センター運営協議会については、定期的に開催するだけでなく、井田こども文化センターの「うきうきフェスタ」などの運営協議会との共催事業を積極的に実施し、多くの子どもや地域住民が協力・参加することで、地域とのつながりが生まれている。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</li> <li>・研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的かつ多様な研修が行われており、井田小学校わくわくプラザでは、井田小学校の協力により「応急対応研修」を行うなど、学校と連携した研修を行った。</li> <li>・また、巡回相談員を講師にした「障がい児対応研修」の情報を全スタッフで共有するなど、研修内容の情報共有も行われている。</li> <li>・個人情報の取扱については、法人において定めている個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。</li> <li>・また、個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備等の保守管理については、日常の管理に加え、井田こども文化センターでは、トレーニング室と卓球室の間のパーテーションが経年劣化で危険な状態にあったものを、職員自ら堅牢な補修を行い、利用者の安全確保を行ったほか、トレーニング室の天井の雨漏りについて、職員が原因調査と補修を行った。</li> <li>・利用者の安全確保については、周辺の交通安全マップや、こども110番の周知などにより、施設への行き帰りの児童の安全にも配慮した。</li> <li>・井田こども文化センターでは、こども運営会議で、安全に利用するためのルール作りを話し合い、子どもが主体的に安全について考える契機とした。</li> <li>・また、各施設とも衛生管理について、マニュアルの整備、職員向けの研修の受講のほか、施設に嘔吐物処理セットを設置し、感染症対策を行った。</li> <li>・さらに、食物アレルギーについては、おやつなど食品の提供の際には、保護者の確認をするなど、十分に注意するとともに、アドレナリン自己注射薬を携行している児童については、ランドセル置き場を固定して緊急時の対応に備えた。</li> </ul>					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

これまでこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を行ってきた経験を活かし、安定した施設運営を行っており、利用者の安全や災害時の対応にも配慮して適正に業務を遂行している。  
また、一部の事業において、地域課題の把握・分析に基づく企画運営がなされていることは評価できる。  
さらに、今後の展開においても、運営協議会・地域団体等からの意見聴取や、指定管理者自ら積極的に地域の実態把握に努めるなどの取組をさらに進め、きめ細かく対応していく必要がある。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

利用者ニーズの把握、地域課題の把握及び地域との連携をさらに進めるとともに、職員のスキル向上等にも継続して取り組み、子育て支援、青少年の主体的な活動、市民活動の拠点として、より一層充実した運営に努めてもらいたい。